

住まいの健康診断ご利用の皆様へ 調査における注意点 (木造・鉄骨造戸建住宅用)

「住まいの健康診断」は平成 29 年 12 月 1 日より、宅建業法で規定される「既存住宅状況調査」(通称：宅建業法インスペクション)に移行しております。

つきましては、「住まいの健康診断参加規約」、「住まいの健康診断実施要領」を十分ご確認くださいと併せて、下記の点が従来の検査より変更となりますので、ご確認ください。

○設計図書などの提出

調査対象物件に下記表の書類がある場合は、検査までにご提出をお願いします。

ご提出がない場合は、調査出来ない項目がございますのでご了承ください。

なお、報告書にてその旨ご報告いたします。

①設計図書 ※下記のいずれかの書類 1 つで結構です。

○基礎の配筋ピッチの分かるもの	
例	
・基礎伏図	
・構造図	
・矩計図(断面図)	
・仕様書	など

②耐震性の確認に関する図書 ※下記の書類とその添付図書を提出して下さい。

○昭和 56 年 6 月 1 日以降に確認済を受けている場合 増改築など有る場合は、その時点の書類	○耐震診断基準などを満たしている場合の書類
例 ・確認済証 ・検査済証 ・確認台帳記載事項証明 ・(新築)住宅瑕疵担保責任保険の付保証明書 など ※添付設計図書も一緒にご提出が必要です。	例 ・既存住宅に係る建設住宅性能評価書(耐震等級 1 以上であるもの) ・既存住宅売買瑕疵保険の付保証明書 ・耐震基準適合証明書 ・住宅耐震改修証明書 ・耐震診断の結果報告書 ・固定資産税減額証明書 など ※添付設計図書も一緒にご提出が必要です